

西野排水機場の施工状況について

国営かんがい排水事業最上川下流左岸地区は、平成 29 年度に事業着手し、今年度で 9 年目を迎えました。本事業では、湛水被害の軽減及び維持管理の費用や労力の軽減を図るため、排水システムの再編を行うとともに、施設の老朽化対策として排水機場、排水路等の新設・改修を行う計画です。

本地区で建設する 6 か所の排水機場のうち京田川右岸に位置する西野排水機場は、令和 5 年 10 月に工事着手しました。現在、土木、建築、機械設備工事を進めており、来年からの稼働を目指しています。



最上川下流左岸地区で建設する排水機場



西野排水機場建設の様子

令和 7 年 9 月 9 日に、据付予定の排水ポンプについて、工場にて性能試験を実施しました。今回の試験では、実際の運転環境を模した条件下で、ポンプの排水能力や動作状況を詳細に確認しました。仕様書に基づいた流量・揚程などの各種パラメータを測定し、ポンプが安定して所定の性能を発揮できるかを検証しました。また、異常振動や異音の有無、起動・停止時の挙動、寸法などについても入念にチェックを行いました。検査の結果、すべての項目において設計通りの性能が発揮されており、据付に向けた準備が順調に進んでいることを確認しました。

今年度、庄内地域では大きな災害もなく、工事は順調に進んでいます。本地区で建設する 6 か所の排水機場のうち、毒蛇排水機場、中央排水機場のほか、昨年度完成した大和排水機場の 3 施設が既に稼働できる状態です。西野排水機場と生田排水機場は現在工事中であり、二段割排水機場については令和 7 年度以降に着手する予定です。引き続き、計画的に工事を進め、地域の安全・安心に貢献できる排水施設の整備を推進します。



排水ポンプ性能試験実施状況（工場内試験）